

外 国 文 学

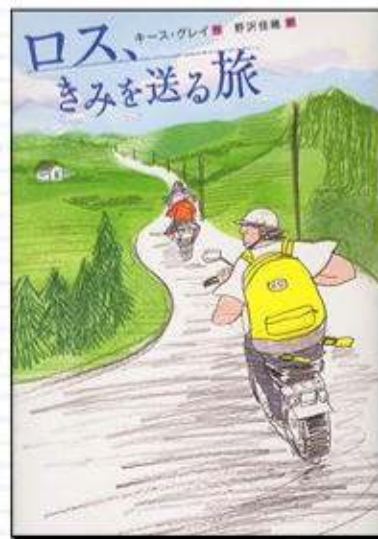
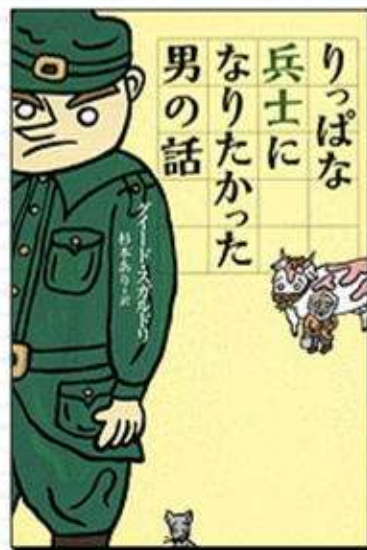
イタリア、オランダ、イギリス、韓国を舞台にした素敵な小説が届きました。

りっぱな兵士になりたかった男の話

グイード・スガルドリ/著
杉本あり/訳 シゲタサヤカ/画
講談社(2012年) 本体価格1300円+税

カスパールは、まちがいなくりっぱな兵士。クルップ軍曹から教えられた九つの決まりを、メモ用紙に写し、いつも肌身離さず、持ち歩いている。彼が貫き通した“りっぱな兵士であるための九か条”とは？

※2007年ペンネ賞受賞



ロス、きみを送る旅

キース・グレイ/作 野沢佳織/訳
徳間書店(2012年) 本体価格1600円+税

友だちのロスが交通事故で死んだ。ロスのためにぼくたち三人は遺灰の入った壺をぬすんで、「本物の葬式をしてやるんだ!」と遠くの町まで旅に出た。ロスは自殺かもしれない。ぼくたち三人が抱えている真実が明らかになっていく。

※2009年カーネギー賞最終候補



父さんの手紙はぜんぶおぼえた

タミ・シエム=トグ/著 母袋夏生/訳
岩波書店(2011年) 本体価格2100円+税

ナチスがオランダに侵攻した1940年、多くのユダヤ系オランダ人が住処を追われました。リーネケの家族もまた名前を変え、離れ離れに身を隠すことできびしい占領の時代を乗り切りました。孤独と恐怖の中で過ごすリーネケを勇気づけたのが“ヤーブおじさん”からの手紙です。戦後も残されたその手紙は今でも色あせません。

※2007年ヤド・ヴァシエム賞、2008年ゼヴ賞 受賞

ゴーストばあちゃん

チェ・ミンギョン/文 梅澤美貴/訳
現文メディア(2010年) 本体価格1300円+税

ある夜、死んだおばあちゃんが孫のウンジェの部屋に現れる。何でも思い残したことが1つだけあるようで…。

おばあちゃんの願いを叶えるために動き出したウンジェ。おばあちゃんが思い残したことは？

※韓国第3回世界青少年文学賞受賞

